

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス野菊野トライ
------	------------------

公表日 令和8年5月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	部屋が分かれているため状況に応じ対応することが出来る。	子どもたちが安心して参加できる環境づくりに工夫を重ねてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	その日その日に合わせて職員の配置や部屋分けをして安全に活動できるよう心がけている。	適切な配置と人材育成を心がけます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	月に一度環境を見直し児童が過ごしやすい環境作りをおこなっている。	継続して子供たちが快適に過ごせる空間を提供し続けます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日掃除や除菌を行っている。	体調面を崩さないように清潔保持に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要に応じて使用している。	状況に応じて柔軟な対応をいたします。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	朝礼時に行っている。	職員一丸となって取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	送迎時やSNSを利用しできるだけ保護者様の意見に沿った支援が出来るよう心がけている。	継続的に支援できるよう活動していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	連絡帳があり、そのノートで共有する事が出来る。	引き続き継続して実施していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	必要に応じて第三者評価を実施する。	必要に応じて対応及び検討をしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	月に2回全体で研修や会議を行っている	今後も継続して取り組んでいきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	弊社公式ホームページにて公開をしています。	引き続き、継続して実施してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	計画期間毎に、アセスメント実施の上、個別支援計画を作成しています。	本人がクリアしやすい目標に着目し、遊びの中で課題をクリアしていく目標にしている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員や相談支援の方など本人に係る職員で担当者会議等を行いこどもを中心とした考え方の元計画を立てている。	こどもの最善の利益を踏まえ、専門的な視点からアセスメントを実施しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員間でも共有し朝礼等で話し合いをしている。	こどもたちが楽しく取り組めるよう、職員が工夫を凝らしてプログラムを考案しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントのみならず、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用している。	今後も継続して取り組んでいきます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら適切に判断し支援内容を策定している	今後も継続して取り組んでいきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	会議の時に話し合いを行っており2カ月先の立案をしている。	こどもたちが楽しみながら参加できるよう、職員が工夫してプログラムを企画しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	偏りが無いように毎月プログラムを考えている。 また、季節を大切に、その四季にあった行事を行う様にしている。	多角的な視点から、職員それぞれがこどもたちに楽しく取り組んでもらえるようプログラムを考案しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個々の状況に合わせてバランスよく個別療育と集団療育を組み合わせ実施している。	一人ひとりの状況に応じた支援を丁寧に行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援前に必ず確認し支援に取り組んでいる。	引き続き、関係者との密な連携を図ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	その日出勤出来ない職員も居るので共有ノートを利用し情報共有をしている。	職員間の情報共有を重視しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎通所毎に記録をとると共に、職員間で共有し、検証・改善に努めています。	継続的に実施しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的なモニタリングの元、支援計画の見直しを行っています。	支援内容の適切な見直しを継続して行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を実施している。	基本活動を重んじ積極的に参画してまいります。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自己選択活動を取り入れており、こども自ら考えて判断する能力の向上に努めている。	こどもたちが自ら考える力を育てるよう、継続して支援してまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	現場や児童をよく理解した職員の会議参加を推進している。	今後も継続して取り組んでまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	40%	60%	関係機関との連携を行い、支援体制を整えている。	関係機関との連携強化に努めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校への支援内容等の情報共有と相互理解に努め支援を行っている	連携を重視し、今後も関係機関との信頼関係の構築に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	現状は未就学の児童がいないこともあり情報共有が希薄になっている。	今後は関係機関と連携を図ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	関係機関との連携を行い、支援内容を共有している。	現在も実施しております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	地域の児童発達支援センターとの連携を行い、助言や研修を受ける機会を設けている。	今後も連携を継続してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	近くに公園や児童館があり交流する事も出来る。	一緒に活動する事の機会は少ないですがお互いの児童が楽しんで一緒に活動出来る事を考えていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	積極的に参加が出来ていない現状がある。	参加できる人材の選出、時間の確保に努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	ご利用日毎に支援内容を共有することで日々の課題や変化についても相互共有を行っている。	今後さらに機会を増やしていきたいと考えております。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	個々の状況に合わせたペアレントトレーニングを提供している。	各ご家庭の状況を把握し、支援の強化に努めてまいります。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	入所時に丁寧な説明を心がけております。通所後も、連携を取りながら不明点の解消に努めている。	至らないところもあるかと思いますが、ご家族に伝わりやすいよう、丁寧に分かりやすい説明を心がけています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向伺う機会を設けている。	今後も機会の拡充に努めてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	説明の上、合意を得ている。	継続して取り組んでまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談や必要な助言と支援を実施している。	話しやすい関係性を大切にし、今後も密な連携を図ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	保護者同士の交流する機会が少ないので機会を提供できるように計画を立て皆さまが参加しやすい交流会を策定する。	計画を立て実行に移してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速に対応している。	ご意見をいただきやすい関係性の構築に努め、ご家族への周知も丁寧に行なってまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%	個々に対応はしている物のSNS等の活用がされていない事が課題としてある。	今後インスタグラムの活用を推進してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	シュレッダーを活用し情報の漏れが無いように粉砕している。	情報の取り扱いには厳重な注意を払い、今後も継続してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	お子様や保護者の方の状況に応じて、合理的配慮の元、意志疎通や情報伝達を行っております。	一人ひとりに応じた対応を大切にしています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	安全面や環境面で出来ていないことも多いが地域の住民の方には認知されている。	今後は機会の拡充に努めてまいります。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアルを策定し研修・訓練も実施している。ただ、認知と言う点では弱いと言わざるをえない。	定期的な見直しを行いながら、実施・周知・説明を継続してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、定期的に避難を実施している。	訓練や消防検査を定期的に実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	服薬や発作含めた状況を把握している。	個々の状況に応じた対応を行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	必要に応じて医師と連携し対応している。	引き続き、関係機関との連携を図ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全管理に必要な研修・訓練を実施している。	継続して実施しております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60%	40%	初回通所前に災害時の避難場所や対応について保護者の方に共有すると共に、避難訓練実施時に改めて周知するなど、子どもの安全確保に努めている。	今後も周知の徹底に努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを職員間で共有すると共に再発防止に努めている。	事故防止のため、職員間で情報を共有し、未然防止に取り組んでおります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修を定期的実施し、職員間で共通認識を持った上で支援を行っている。	職員の意識向上に引き続き努めてまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	100%	0%	身体拘束について定期的に研修を実施すると共に、子どもや保護者に説明を行っている。	今後も継続して取り組んでまいります。	